

# J A C S

## NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニューズレター

第11巻第4号

発行日●2003年10月10日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

### 第27回消費者行動研究コンファレンスの案内

秋の消費者行動研究コンファレンスの開催日程が決定しましたので、ご案内致します。

第1日目に JACS-SPSS 論文賞・研究報告・懇親会、第2日目に研究報告・会員総会・シンポジウムを予定しています。

**開催日程決まる！**

11月8日(土)・9日(日)

学習院大学

(東京都豊島区・目白)

### 統一論題：消費者行動研究の回顧と展望

日時：2003年11月8日(土)・9日(日)

会場：学習院大学目白キャンパス

日程：8日(土)

9日(日)

9:30 - 受付開始

10:00 - 受付開始

10:00 - 12:00 JACS-SPSS 論文賞①

10:30 - 12:00 自由論題研究報告

12:00 - 13:00 昼食(役員会)

12:00 - 13:00 昼食

13:00 - 14:00 JACS-SPSS 論文賞②

13:00 - 13:30 会員総会

14:00 - 14:30 休憩

13:30 - 15:30 シンポジウム

14:30 - 18:00 統一論題研究報告

18:30 - 懇親会

費用：参加費 3,500 円(会員外は 5,000 円) 懇親会費 6,500 円

申込み：会員の方は別途お送りする返信用葉書かファックス用紙、または E メール

(jacs@jacs.gr.jp)でお申し込み下さい(会員以外で参加をご希望の方は、最終頁の申込書に氏名・連絡先等を明記の上、事務局宛に郵便、FAX または E メールにてご連絡下さい)。

## 第27回消費者行動研究コンファレンス

(統一論題)

### 「消費者行動研究の回顧と展望」

青木幸弘(学習院大学)

既にご案内のように、来る11月8・9日の両日、学習院大学において第27回消費者行動研究コンファレンスが開催される予定である。

かねてより役員会では、開催校として学習院大学の名前が何度となくあがったが、学会事務局を引き受けていたことや会長であること等を理由に、お断りし続けてきた。しかし、事務局を関西学院大学にお受け頂き、また、会長職も退いたため、お断りするための説得的な理由も無くなってしまった。そこで、会場設営面で上田隆穂教授、杉田善弘教授のご協力を頂きながら、統一論題のコーディネートも含めて学習院大学でお引き受けすることになった次第である。

さて、今回、秋のコンファレンスをコーディネートするに当たり、統一論題をどのように設定するか迷ったが、折角の機会でもあるので、標記のように些か大上段に構えて「消費者行動研究の回顧と展望」とした。また、歴代会長をつとめられた先生方の中から何人かの方にご登場頂き、それぞれのお立場からご関心領域について、過去を振り返り今後について語って頂くという趣向も考えた。

振り返ってみれば、日本消費者研究学会が設立されたのは1992年のこと、ACR(Association for Consumer Research)に20年以上遅れて設立されたとは言え、既に10年以上の歳月が流れている。また、学会設立に先立って有志によって開催されていた消費者行動研究コンファレンスも、その後、春秋年2回のペースで継続的に開催され、今回で27回目を数えるまでになった。少し切りの良くない年次と回数ではあるが、この際、学会としても、われわれ一人一人としても過去を整理し、これからの考えてみてはと思う次第である。

近年、この学会の会員数も次第に増加し、中でも若手の研究者の構成比が更に上昇しているように見受けられる。消費者行動研究の領域は多岐に渡り、また、未だ学説史といったものが確立していない分野であるだけに、こうした研究の過去・現在・未来についての回顧と展望の試みは、そのような若手研究者の人達にも必ずや参考にして頂けるものと思っている。

いずれにせよ、航海に海図と羅針盤が必要なように、研究にも方向性と現在地を確認するためのマップが必要である。今回のコンファレンスの統一論題における議論が、参加者の方々に対して研究上の「海図」を提供できうるようなものとなることを願っている。

<了>

## マイクラス 「“押して・引く”仕組みと小細工」

新倉貴士(関西学院大学)

事務局の山本昭二先生と相談しまして、昨年度のこの時期から各先生方に、担当するクラスやゼミについて、思うところ、考えるところ、悩むところなどを自由に語って頂き、会員の皆様の抱えている授業に関する“問題解決の糸口にでも”と、この企画を始めました。これまで語って頂いた先生方からは、ゼミのあり方やクラスの捉えられ方など、大変興味深いものがありましたね。今回は“言い出しっぺ”の一人から、クラス運営についての仕組みと小細工を語らせていただきます。

私が担当しています「消費者行動論」のクラスは、週2回の半年間のうち前半と後半でその内容を分けています。前半は消費者行動に関して、威圧的に“押して”いく一方的な講義でして、歴史や各アプローチを紹介してから、消費者情報処理の枠組みを利用して購買意思決定プロセスを展開していきます。毎回、一つのテーマで完結するようにして、パワーポイントを利用して配付資料を手渡しています。

前半と後半という仕組みにしているのは、一種の“ふるい分け”目的からです。前半の講義終了時に中間テストを行い、これにパスした学生のみ後半の授業を受けられるようにしています。これは、以前、クラス修了時の学生から感想をもらったなかで、「いい加減な学生とディスカッションやグループワークをしたくない」という貴重なものがあったからです(学生同士できちんと認識しているようですね！)。

後半では、ケースディスカッションとグループワークを同時並行的に進めています。後半では、学生の自主性を引き出すために、前半で威圧的にした分だけ少し“引く”姿勢を見せながら少々的小細工をしています。後半では、彼らとのインターアクションが重要になりますので、まず各自にネームプレートを作成させて、毎回座席の前に置くように指示します(一枚の厚紙を配布して、二つ折りにさせマジックで名前を書かせるだけのものですが、緊張感と親密感をつくるのには結構効果があるようです)。また、私のオリジナルの「履修登録書」を提出させています。ここには学生証のコピーを貼付させて、所属ゼミやセールスポイントやらを自由に書く欄を設けています(時々、ディスカッションを盛り上げる時に使用できます)。この登録書には、ディスカッションでの発言ポイントを毎回採点できるように欄を設けています。ディスカッションではゼミ学生に協力してもらい、発言直後の学生に出席カード(発言カード)を手渡して終了後に回収します。授業終了後に各発言内容を振り返りまして、この登録書に採点するようにしています。グループワークでは、それぞれで企業やブランドなどを取り上げて、消費者行動とマーケティング戦略とのインターアクションを調べさせ、中間・最終プレゼンテーションをさせ、最終的にショートケースの作成を義務づけています。前半で詰め込んだ知識を最大限利用してまとめさせています。

クラス修了後の感想を聞いてみますと、前半の講義はどうも「面白くなかった」ようでして(反省します！)、その理由を聞きますと「一方的(威圧的?)だった」「言葉が難しくて頭に入らなかった」などでしたが、後半のケースディスカッションとグループワークは大方「充実して取り組めた」ようです。

今年度もまた授業が始まりました。また新しい「“押して・引く”仕組みと小細工」を考案中ですので、皆様のなかで何か効果のあるものをお持ちの方がいましたら是非教えて下さい。お待ちしております！

## ● 新入会員の募集について ●

本学会への入会を希望される方は、本頁下部の該当項目に☑をし、FAX ないしは郵便にて事務局宛にご返信頂くか、ご希望の項目を明記の上、e-mail にてご連絡ください。折り返し、会員募集案内(設立趣意書、学会会則、会員リスト、入会申込書、等)をお送りさせていただきます。

### ●入会資格

#### [学術会員]

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者(在籍経験者を含む)、およびそれに準ずる者(文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等)。但し、学術会員2名の推薦が必要。

#### [賛助会員]

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

### ●年会費

#### [学術会員]

5,000 円(但し、大学院生の場合は、2,000 円に減免)

#### [賛助会員]

個人会員 1 口 5,000 円 法人会員 1 口 50,000 円

---

会員募集案内(入会申込書)の送付を希望します。

第 27 回コンファレンスへの参加を希望します。(懇親会:  参加  不参加)

お名前:

ご所属機関:

---

ご住所:

TEL:

FAX:

---

E-mail:

## ● JACS事務局のご案内 ●

(事務局)

〒662-8501 西宮市上ヶ原1-1-155

関西学院大学商学部 マーケティング研究室(山本昭二)

TEL: 0798-54-6375 FAX: 0798-51-0903

Email: sjyama@cvn.bai.ne.jp

(事務取扱) 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-1-39

恵比寿プライムスクエアタワー10F (SPSS 内)

TEL: 03-5466-5520 FAX: 03-5466-5528

Email: jacs@jacs.gr.jp

\*ご入会希望やコンファレンスへの参加お申込み、またお問合せ等は上記までお願い申し上げます。

---

---